

第4学年 国語科学習指導案

児童 男13名 女15名 計28名
指導者 佐藤 則子

1 研究主題 確かに読み取る力を育てる指導のあり方
— 読むことの系統性をおさえた指導（一人学び・学び合い）を通して —

2 単元名 『材料の選び方を考えよう』
（教材名 「アップとルーズで伝える」）

3 単元について

（1）児童について

児童はこれまでに、「読むこと」の学習として、3年上「ありの行列」で段落という概念を学び、4年上「『かむ』こと力」で段落相互の関係をおさえている。また、段落の構成については、いくつかの説明文において、文章の「初め」に、問題提起・話題提示部分があることを学習し、問題の「答え」にあたる内容を見つけたら、題名や繰り返し出てくる言葉、また、接続語に気をつけて読む学習をしてきた。

学級の児童は、説明文の学習について、教材文を読んで新しい知識を得ることができるなどの理由から好きだと感じている児童が多いが、中心となる語や文を的確にとらえて読める児童は少なく、段落の要点を自力でまとめることについても個人差がある。

事前テストの結果は、段落の要点を記述する問題の正答率は27%、文章全体を大きなまとまりに分ける問題の正答率が15%であり、指示語の内容をとらえて、要点を的確にとらえたり、接続語に気をつけて文章全体を大きなまとまりでことを苦手としている児童が多い。

（2）教材について

第3・4学年の「C読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

本単元は、まず、説明文「アップとルーズで伝える」で、テレビや新聞などを通して届けられる映像や写真が、送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであることを、基本的な映像の技法である「アップ」と「ルーズ」を通して考えさせていく。そのうえで、「四年三組から発信します」では、自らが情報の発信者となって、情報の収集、選択、発信を体験させることになる。また、本単元は情報活用単元の系列に属しており、特に伝えるための材料（情報）を選ぶというところに焦点化し構成されている。この学習がさらに5年「ニュース番組作りの現場から／工夫して発信しよう」へとつながる。

本教材「アップとルーズで伝える」は、わたしたちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたもの物である。児童にも身近に感じられる内容であり、実際に確かめることも容易である。また、アップとルーズについて対比的に述べられており、段落構成、キーセンテンスやキーワード、要約などの学習にも適していて、読む力をはぐくむ教材としても十分な内容をもったものとなっている。

（3）指導について

指導にあたっては、アップとルーズの働きについて、写真と文章を対応させながら丁寧に読んでいきたい。その際、接続語や指示語に着目させながら段落相互の関係をとらえることができるようにしていく。また、段落に小見出しをつけ、さらに段落のまとまりに大見出しをつけることで、文章全体の構成を考えていくようにしたい。一人学びでは、写真と文章を対応させながら中心となる語をとらえさせ、学び合いでは、一人学びでつかんだ内容をもとに各段落の要点をまとめたり、実物と照らし合わせて教材文を読んだりすることによって、内容を正しく読み取らせていきたい。そして、その後の段落を大きなまとまりとして考える学習につなげるようにしていきたい。

4 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ。

(2) 読むこと

それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読む。(イ)

写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめる。(オ)

(3) 言語に関する目標

文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解する。(オ(イ))

(4) 書くこと

取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書いて知らせる。(ア)

書こうとする題材に必要な事柄を集める。(イ)

見出しを立てながら書く。(エ)

5 単元の評価規準(身につけさせたい力;基礎・基本)

	関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語事項
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気づき自分が表現していくときに役立てていこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落の要点を抜き出したり、小見出しをつけたりするなどして、段落相互の関係や文章の中心をとらえて読んでいる。 それぞれの段落が文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえている 自分と他の人の感想や意見の違いに気づいている 文章の区切り目や大事な言葉を明瞭に声に出して読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報や調べた結果について相手や目的に照らして必要のある事柄かどうかを考えている。 相手や意図に応じて写真や材料を選び分かりやすくまとめている。 自分の書いた文章を読み返して間違いなどを正している。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 国語辞典の使い方を知り、難語句や新出漢字など必要に応じて活用している。 文章全体における段落の役割を理解している。 指示語や接続語の役割を理解し、文と文との意味のつながりを考えている。

6 指導計画(全17時間)

段階	学習活動	時間	評価規準			
			関心・意欲・態度	読む	書く	言語事項
一次	<ul style="list-style-type: none"> 単元名とリード文を読み、学習の内容を知る。 教材文を通読し、文章の内容を大きくつかみ見通しをもつ。 新出漢字を学習する。 	1	「アップとルーズで伝える」を通読し、今後読み進めることに意欲をもっている。	文章の内容を大まかにつかむことができる。		新出漢字についておさえることができる。
二次	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章の関係を考えながら段落を読む。 段落と段落の関係をとらえる。 	1	写真と文章の関係や、それぞれの段落の全体の役割に注意しながら読んでいる。	写真と文章の関係を理解し、「アップ」と「ルーズ」の意味を理解している。		指示内容から段落の役割をとらえている。
	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章の関係を考えながら段落を読む。 アップとルーズそれぞれ 	1本	写真と文章の関係や、それぞれの段落の全体の役割に注意	アップとルーズそれぞれの長所・短所が述べられてい		接続語・指示語の役割を理解し、

		れの長所と短所を読み取る。 段落と段落の関係をとらえる。	時	しながら読んでいる。	ることを読み取っている。		文と文のつながりや段落の役割を考えている。
		・ 段落を読み、筆者の伝えたいことをとらえる。	1	筆者の伝えたいことをとらえようとしている。	新聞にも、アップとルーズがあることが分かり、アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。		中心となる語や文末表現に着目しながら、段落の役割に気づいている。
三次	ま と め る	・ 各段落に小見出しをつけ、さらに段落のまとめを考え大見出しをつける。 ・ 段落構成を図にまとめる。 ・ 教材文全体の内容をまとめる。	2	前時までの学習をもとに段落のまとめやその役割を考えようとしている。	段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。		文章全体における段落の役割に気づいている。
四次	ひ ろ げ る	・ 「四年三組から発信します」を読み、活動の見通しをもつ。	1	アップやルーズで撮った写真を使って、自分たちが知らせたいことや、相手が知りたいことをまとめる活動に意欲をもっている。	「四年三組から発信します」を読み、読み取ったことをもとに活動の見通しをもつ。		文章全体における段落の役割に気づいている。
		・ 教科書作例の工夫に気づく。 ・ 題材について話し合い、自分たちのまとめ方のイメージをもつ。	2	グループごとの活動に積極的に加わり、何をどのように伝えるのか、自分の考えをもっている。		相手や目的に応じて、知らせることを考えている。	表現するために必要な文字や語句について辞書を利用して調べている。
		・ 取り上げる題材を決め、取材する。 ・ 材料を選び、記事を書いたり割り付けをしたりする。 ・ 下書きをし、互いに読み合う。 ・ 清書し、仕上げる。 ・ 掲示し、お互いのグループの作品を見て、感想を伝え合う。	7	友達の意見も取り入れながら意欲的に作業している。		集めた情報や調べた結果について相手や目的に照らし必要のある事柄かどうかを考えている。 相手や意図に応じて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。 自分の書いた文章を読み返して間違いなどを正している。	文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。 相手や目的をおさえ、常体と敬体を区別して書いている。
		・ お互いの作品を見て、工夫点などを述べ合う。 教材文を読み返し、自分	1	教材文で述べられていることを視点として、自分の活動を振			相手や目的を押さえ、常体と敬体

	たちの活動を振り返る。	り返っている。		を区別して書いている。
--	-------------	---------	--	-------------

7 本時の指導

(1) 目標

アップとルーズの違いについて関心をもち、進んで内容を読み取ろうとしている。(関心・意欲・態度)

アップとルーズには、それぞれの長所・短所があることを、中心となる語をとらえて読み取ることができる。(読むこと イ)

接続語・指示語の役割を理解し、文と文のつながりや段落の役割を考慮することができる。(言語事項)

(2) 具体の評価規準と手立て

	A 十分満足	B 概ね満足	C 努力を要する
読むこと	アップとルーズにはそれぞれ長所・短所があり、目的に応じて使い分けられていることを中心となる語(細かい部分の様子・うつさされていない多くの部分・広いほんのの様子・目的に応じて)をおさえてとらえ、自分の考えをまとめている。	アップとルーズにはそれぞれ長所・短所があることを、中心となる語(細かい部分の様子・うつされていない多くの部分・広いほんのの様子)をおさえてとらえている。	ヒントカードを用い、中心となる語や文をつかむことができるようにする。 教科書の写真や映像などの具体物と合わせて教材文を読ませ、内容をつかめるようにする。

(3) 本時の授業仮説(研究主題との関連)

一人学びで、アップとルーズそれぞれの長所・短所を、接続語に着目させながら表にまとめさせ、学び合いで、本文と映像を照らし合わせてグループで話し合ったり、段落相互の関係について話し合ったりする活動を行うことにより、中心となる語をとらえながら内容を確かに読み取ることができるであろう。

(4) 展開

段階	学習内容・子どもの活動	時間	教師の働きかけ・評価 (主発問・留意点 支援 評価)
みとおす	1 前時を想起する。	3分	・前時までに取り上げた「アップとルーズの意味」と問題提起の文を想起し、本時へとつなげる。
	2 本時の課題の確認。 アップとルーズでは、どんなちがいがあのでしょうか。		
ふかめる	3 読みの見通しをもつために音読する。(指名読み)	30分	・アップで分かること、ルーズで分かることの違いに気をつけながら読みましょう。 アップでとると分かることと分からないことを表にまとめましょう。 ルーズでとると分かることと分からないことを表にまとめましょう。 ・段落「しかし」、段落「でも」に着目させ、その前に長所、後に短所が書かれていることに気づかせる。 C段階の児童へは、ヒントカードを用いて中心となる語をとらえさせる。
	4 各々の視点に沿って読み深める。(一人学び)		

5 とらえたことをもとに学び合う。 (学び合い)		<p>アップとルーズ、それぞれで分かることと分からないことを確認していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人学びで各自がとらえたことを発表し合い確認する。 段落で読み取ったことを、映像で確認してみましょう。 段落と 段落の関係を考えていきましょう。 「このように」が何を指すのかを考えさせ、 段落が段落のまとめになっていることをとらえさせる。 段落の「分かること」「分からないこと」が、 段落の「伝えられること」「伝えられないこと」であることを確認する。 「目的に応じて」について考えさせる。
6 つかんだことをまとめる。	1 2 分	<p>アップとルーズそれぞれの長所・短所が述べられていることを読み取っているか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アップでは、細かい部分の様子を伝えられるが、うつされていない多くの部分のことは、伝えられない。</p> <p>ルーズでは、広いはんいの様子を伝えられるが、細かい部分の様子は伝えられない。</p> <p>アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがある。 (目的に応じて切りかえながら放送している。)</p> </div> <p>7 まとめの音読 (一斉読)</p> <p>8 自己評価</p> <p>9 次の学習内容を知る。</p>
まとめる		<p>今日学習したことを思い出しながら音読しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の学習でがんばったことについて書かせる。 <p>新聞におけるアップとルーズについて学習します。</p>

(5) 板書計画

このように、

目的に応じて

伝えられること

伝えられないこと

写真	写真
ルーズ	アップ
<ul style="list-style-type: none"> 選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っている様子 広いはんいの様子 	<ul style="list-style-type: none"> 細かい部分の様子 ゴールを決めた選手が全身で喜びを表しながら走る様子
<ul style="list-style-type: none"> 各選手の顔つきや視線 各選手の気持ち 細かい部分の様子 	<ul style="list-style-type: none"> 相手チームの選手の様子 おうえん席の様子 うつされていない多くの部分

課

アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしよう。

アップとルーズで伝える

中谷 日出

ま

アップでは、細かい部分の様子を伝えられるが、うつされていない多くの部分のことは伝えられない。

ルーズでは、広いはんいの様子を伝えられるが、細かい部分の様子は伝えられない。

アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがある。(目的に応じて切りかえながら放送している。)